



2021年1月14日

各 位

会 社 名 セントラル硝子株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 清水 正  
(コード番号 4044 東証第一部)  
取締役常務執行役員  
問合せ先 経営管理室長 宮内 徹  
(TEL. 03-3259-7062)

AGC株式会社との国内建築用ガラス事業統合に係る  
協議の中止に関するお知らせ

当社は、2019年12月9日付「AGC株式会社との国内建築用ガラス事業統合に係る基本合意書締結に関するお知らせ」および2020年10月29日付「AGC株式会社との国内建築用ガラス事業統合の完了時期に関するお知らせ」で公表しましたとおり、AGC株式会社（以下、AGC）との間で、国内建築用ガラス事業の事業統合（以下、本事業統合）を目指し基本合意書を締結の上、協議（以下、本協議）を進めてまいりましたが、本日開催の取締役会において以下のとおり本協議を中止することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 本協議の中止の理由

当社は、厳しい事業環境が続く国内建築用ガラス事業について、経営及び資本の効率化と収益性の向上、企業基盤の充実を目的として、2019年12月9日にAGCと本事業統合に向けて基本合意書を締結し、2020年12月末の事業統合完了を目指し、両社の間で詳細な検討と協議を進めてまいりました。

その後、2020年10月29日に、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより交渉作業に時間を要したことから、事業統合の完了目標時期を当社における2022年3月期第3四半期（2021年10月1日～12月31日）とすることを公表いたしました。

しかしながら、事業統合にあたっての条件について両社の間で見解が異なり、合意が困難との認識に至ったことから、本協議を中止することといたしました。

2. 今後の見通し

当社は、2019年10月に「建築ガラス事業の構造改善」について取り組むことを発表しておりますが、対象事業を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの影響による市場縮小等もあり当時よりさらに厳しい状況にあります。AGCとの統合協議は中止となりますが、事業環境に対応する抜本的かつ実効性のある構造改善が必要なため、従前策を見直したうえで、早急に新たな事業構造改善に取り組んでまいります。

なお、構造改善策の内容につきましては、決定次第改めてお知らせさせて頂く予定としております。

3. 業績に与える影響

本協議の中止による当社業績への影響はありません。

以 上